

伊藤村長就任あいさつ

常に“新しい風”、新しい思考“で



村民の皆様には心からのあいさつを申し上げます。

六月に行われました村長選挙には、多くの皆様方の御支援をいただき、再度、村長という重責に就任させていただきました。

過去の貴重な経験と、全村民の皆様をはじめ、国・県・更に多くの関係する皆様方の御協力をいただき、重い任務を果たして参ります。

さて、変革の時代、いつ何が起きてもおかしくない時、突如として発生した原油高：これが至って悪影響を及ぼし、物価高、先行き不透明感の充満した社会、又とても人間社

会の出来事とは思えない凶悪犯罪が、連日のように報じられています。

この地球上に住む者の共同の責任ととらえ、一日も早く正常な社会を取り戻したいものです。

当村は、今日まで村創りの基本は人創り、特に生きた教育の推進を計るため、青少年時代より、村創りに積極的に参画・ふる里を理解し、ふる里を育むほのぼのの教育の実践と、国際化時代にに向けての中学生の海外体験・下條大学・図書館等の更への充実を計ります。

又、少子高齢化の時代に、持続可能な福祉システムの確立を計るため、文化施設の充実、若者向け住宅、徹底した子育て支援を行い、長寿社会の中で今日まで頑張ってきたお年寄りの皆さんが、心から安心して住める「共に支え合う」社会の充実を計り

ます。

又、女性の自主的活動を計るため、各種機関への積極的登用と幅広い視点での交流を計り、結婚問題にも前向きに取り組んで参ります。

又、年々増加する若い皆さんとの対話を重ね、フレッシュな意見を行政の中に組み込んで参ります。

皆さんが、自信とやる気の出る地域を目指すには、人口増を計ることが必須の条件です。更に魅力あふれる村にして、交流人口・定住人口の増を計り、付加価値の高い観光型の農業、商工業の活性化と振興を計ります。

又、IT化時代に、次世代にも通用する「音声告知システム」も今年中に全くと完成。更に新しいニーズに対応する「第十一メゾンコスモス」の建設にも取組みます。

今迄当地方、公共交通機関等全く無い条件の中で、皆

様が歯を食いしばり頑張られ、全国でも有名なる下條村にさせていただきました。

これからは、待望久しかった三遠南信道も現実のものとして考えられる様になりました。リニアの新幹線も伊那谷を通過の可能性も高まり、道州制の問題も、急浮上して来ました。

今迄余り恵まれない地域だっただけに、正に千載一遇のチャンスです。この機に更に各自自治体とも連携を密にして、その対応に誤りなき様つとめ、次の世代・子や孫に、胸を張って申し送れる社会の実現に全身全霊で頑張ることをお誓い申

し上げます。
終わりにあたり、皆様方の御健勝を心より御祈念申し上げます。あいさついたします。



▶ 選挙管理委員長より当選証書の授与

村長選挙の結果

任期満了（七月二十四日）に伴う村長選挙は、六月二十九日投票、即日開票され、無所属の伊藤喜平氏が再選を果たしました。

当日の有権者数は三千二百二十六人、投票率は八二・一五％でした。

平成20年 6月29日執行
下條村長選挙

候補者別得票数

党派名	候補者氏名	得票数	得票率
無所属	伊 藤 喜 平	1,955	75.3%
無所属	折 山 やすひろ	643	24.7%
投票総数	2,618票	有効投票	2,598票
(投票率 81.15%)		無効投票	20票